

鐘の音

Kane-no-ne

パートナーシップさいたま
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌

vol.24

2011.7発行



ひと ひと

▲女・男プラザにおいて開催した講座「離婚と女性の人権」の講師

(左から) 家庭裁判所参与員 野村路子さん、弁護士 鈴木幸子さん、弁護士 大森三起子さん

特集

パートナーシップさいたま ^{ひと ひと} 女・男プラザに
お出かけしませんか 2~3

- セミナーレポート 3
- 講座のお知らせ 4
- ただいま活動中 「さくらっこくらぶ」 4
- 女性の悩み相談 相談室から 5
- コ・ラ・ム 数字 5
- Book Navi 図書のご案内 5
- 施設・相談のご案内 / ほっとたいむ 6

パートナーシップさいたま 大宮区 ひと ひと **女・男プラザ 緑区** にお出かけしませんか



さいたま市には、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な事業を行っている施設として男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)と女・男プラザがあります。専門的な図書を揃えたり、女性からの悩みの相談に応じたり、色々な切り口からのテーマによる講座・講演会を実施したりしています。

いつでもあなたをお待ちしておりますので、ぜひお立ち寄りください。

パートナーシップさいたま

情報・資料コーナー



会議室・プレイルーム



男女共同参画社会の形成に関する目的・内容で活動する市内・市外の団体等にご利用いただけます。

プレイルームは、会議室をご利用の際のお子さまの保育にお使ってください(保育士が必ず同室してください)。

部屋名	会議室1	会議室2	会議室3	プレイルーム
定員	12名	12名	24名	5名

*会議室1、2は仕切りを移動させ1部屋として利用できます。
 *いずれも有料です。

ジェンダー/家族/子育て/労働/カウンセリング...
 男女共同参画に関連する1,665冊の図書や、雑誌、ビデオを借りることができます。図書、雑誌は1回3冊まで、2週間借りられます。

図書館にはない専門的な図書やビデオもあります。国や県、全国の関連施設の資料も収集しています。

交流コーナー



自動印刷機での会報等の印刷や、コピー、資料の閲覧、少人数の会合にご利用ください。

授乳室



パートナーシップさいたま周辺で唯一の授乳室です。どなたでもお気軽にご利用ください。

女性の悩み電話相談・法律相談・心の健康相談



女性からの悩みに対し、専門の女性の相談員がお答えします。いずれも無料で、秘密は厳守します。



▲プレイルーム

男女共同参画に関連する講座・講演会



ワーク・ライフ・バランス/女性の再チャレンジ支援/DVの防止/心身の健康づくり...

様々な講座・講演会を、今年度は15の講座を予定しています。最近実施した講座についてP.3、これから行う講座についてP.4にて紹介しています。

ご参加をお待ちしております。

情報・資料コーナー

- 図書
- 雑誌
- ビデオ
- 行政資料

男女共同参画に関連する655冊の図書の他、雑誌の貸出しも行っていきます。1回3冊まで、2週間借りられます。



男女共同参画に関連する講座・講演会

- ジェンダー
- 仕事と生活

今年度は「トレンド社会学」、「カジメン塾」、「イクメン塾」の開催を予定しています。

団体活動室

- 会合
- 打ち合せ

各種団体の打合せにご利用ください。

女性の悩み電話相談・法律相談

- 生き方
- 法律

女性の悩み電話相談は毎週金曜日に、法律相談（予約制）は毎月第1・第3火曜日に実施しています。



■ セミナーレポート ■

今までに開催した講座の報告です。

人生塾 「これまでの介護、これからの介護
～男女共同参画の視点から考える介護～」

会場 女・男プラザ
日程 2/3～3/3 (全5回)
内容 ①「認知症の人と家族の会」の経験から考える認知症と身体介護
②からだに優しい古武術介護
③ケアする人のケア
～ランチ付きワークショップ～
④男性の家族介護から見えること
⑤女・男カフェ 他人事ではない介護問題
講師 介護福祉士・理学療法士 岡田慎一郎さん
湯澤医院院長 湯澤俊さん ほか

★介護問題の社会的背景、認知症の方を介護する場合の知識や注意点、介護者を孤立させない地域づくり、男性介護者の特徴などが取り上げられました。実践として身体に負担のかかりにくい古武術を使った介護の仕方も体験しました。

介護はいつまで続くのかわからないのが不安要素であるから、介護者はつらさを一人で受け止めないために、居場所作りやネットワーク作りが大切と語られました。

(石塚寿美恵)

離婚と女性の人権

会場 女・男プラザ
日程 5/26～6/9 (全3回)
内容 ①家裁調停の現場から
②女性の人権を守るために
③離婚の法的基礎知識
講師 家庭裁判所参与員 野村路子さん ほか
(表紙写真参照)

★離婚はつらいテーマですが、3人の先生方は丁寧にお話くださいました。国が設立した「法テラス」で相談窓口を紹介してもらえること、協議離婚が難しいとき離婚調停になり、家庭裁判所で調停員が夫と妻の双方から話を聴くこと、人と人の気持ちがぶつかり合う話し合いで、親権・子との面会・慰謝料などで不成立になったときは、離婚訴訟に進むことを学びました。他に、離婚費用の分担や財産の保全、子の戸籍を動かす手続きも知りました。そして女性の人権を守る法律として、例えば、DV防止法では接近禁止命令や退去命令が出ることもあるそうです。

私自身は離婚問題に直面してはませんが、女性の方が経済的に不利なケースでも、法制度を活用し、人生を歩めると思いました。

(秋山典子)

働きたいあなたのための再就職準備セミナー

会場 パートナースHIPさいたま
日程 5/24、5/31 (全2回)
内容 ①知らなきゃ ソン ソン 得 パートタイム労働法
②パートで働く心構え 応募から就労時までの注意点
講師 埼玉労働局雇用均等室の均衡待遇・正社員化推進プランナー職員 ほか

講座のお知らせ

パートナーシップさいたまで、8月以降に主催する講座のお知らせです。ぜひご参加ください。
☆全講座託児付（1歳6か月以上の未就学児5名）

理工系を目指す女子支援
なぜなぜ？ どうして☆どんなふう？！
夏休みおもしろ科学実験

回	テーマ	講師
1	くしゅぼしゅぼ>でさぐる、 空気の分子とその運動	NPO法人 埼玉たのしい科学 ネットワーク代表 清水龍郎さん
2	自由電子が見えたなら -金属とイオンのひみつ	清水龍郎さん
3	けんび鏡を作って、 自分の細胞を見てみよう	桜蔭学園理科（生物） 教諭 和田 文さん

日時 8/18・19・20 10時～12時
会場 パートナーシップさいたま会議室3
定員 小3～中3の女子児童・生徒とその保護者で
2回以上参加の方24名（先着順）
費用 無料。ただし実費負担として、第1回600円、
第2回100円、第3回840円。
申込 8/3 9時より

男女共同参画の視点から国際交流を考える
～世界の女性と子どもたち
国際交流から見てくること～

回	テーマ	講師
1	フィリピンのバナナ料理 からなにがわかる？	NPO法人APLA事務局長 吉澤真満子さん
2	手工芸品で バングラディッシュの 女性が変わった？	国際協力NGO シャブラニール事務局長 筒井哲朗さん
3	世界における 男女共同参画の動き	関西学院大学客員教授 大崎麻子さん

日時 8/31・9/7・14 10時～12時
会場 第1回：桜木公民館調理実習室
第2・3回：パートナーシップさいたま会議室3
定員 24名（先着順）
費用 無料。ただし実費負担として、第1回150円
（バナナほか）。
申込 8/3 9時より

女性カレッジ2011 コミュニケーションカアアップ講座

回	テーマ	講師
前	1 「コミュニケーション能力」 って、なあに？	埼玉大学教育学部教授 沢崎俊之さん
	2 エコバッグづくりを通して 気づき、考える	ヘルシーカフェのら 新井純子さん
	3 ジェンダー関係の問題点に 気づく	埼玉大学教育学部教授 田代美江子さん
期	4 アサーションスキルを 得るために	TOS企画代表 佐野幸子さん
	5 ハートをつなぐ コミュニケーション	
後	6 限られた時間と空間の中で	日本航空客室品質企画部 サービスアドバイザー 飴善晶子さん
	7 異文化間の コミュニケーション学	埼玉大学経済学部准教授 渋谷百代さん
	8 メディア・リテラシーから 考える	東海大学文学部准教授 谷岡理香さん
	9 私らしい表現力	
	10 コミュニケーションカ アアップを実感する	パートナーシップさいたま 事業コーディネーター 加藤久美子

日時 9/27～11/29 10時～12時
会場 パートナーシップさいたま会議室3
定員 女性24名（先着順）
費用 無料
申込 9/5 9時より

ただいま活動中 「さくらっこくらぶ」

男女共同参画を目的に活躍している
グループを紹介します

子育てサークル「さくらっこくらぶ」は平成19年、生涯学習総合センターで行われた子育てセミナーの参加者で作ったサークルで、子育て真っ最中のママたちで運営しています。普段は主に託児つきでママがリフレッシュできるような講座（ヨガや料理教室、メイク講座等）、子育てセミナーを開いており、一昨年まではさいたま市の子育てセミナーの企画運営をしてきました。

更に昨年は、パートナーシップさいたまでの市民企画講座でも企画運営をさせていただきました。

託児をお願いしてほっと一息つける自分だけの時間は、核社会化や地域との関わりが少なくなりストレスを抱えがちな現代のママがリフレッシュできる大切な時間でもあります。自分の時間を2時間でも持つことで、ママがイキイキし、自分や家族を見つめ直す機会ができ、育児の余裕も生まれて来ると実感しています。さいたま市子育てきっかけ応援ブックにも載っていますので、気軽に参加してください。
<http://mehio.jp/sakurakko-club/>

代表
さくらっこくらぶ



▲子育てセミナーで、講師の安藤哲也さんと



女性の悩み相談

◆ 相談室から ◆

パートナーシップ

さいたま市男女共同参画推進センター「パートナーシップさいたま」が誕生して、早いもので8年目、電話相談室にもたくさんの相談が寄せられています。離婚を含めた夫婦の相談もその一つです。

結婚して数年、順調に子どもに恵まれたものの、夫が仕事で忙しく休みは寝てばかりという状況の中、一人での子育てを辛く感じ、夫への不満と孤独感を溜めている方。熟年夫婦となっても、改めて夫と向き合うことで、お互いの隔たりを感じ、夫婦でいることに疑問を持ったり、老後に向けて不安になったりすることも…。

夫婦はパートナーですが、本当の意味でパートナーになるのは難しいことと実感させられます。わがセンターの愛称にある「パートナーシップ」とは、よくぞ名付けたものと今更ながら感じ入ってしまいます。

ただ一組の男女の問題でも、そこには夫が企業戦士にならざるを得ない日本社会のあり方や、夫婦関係が対等ではなく、夫という立場や外で働く人が上だという意識も根底になっていて、関係に影を落としている面もあります。そのことを認識することは、パートナーシップを見直すきっかけになるのではないかと思います。

悩むということは辛いけれど、もっと豊かな関係に変化する、分岐点に立っているとも言えるのではないのでしょうか。
(婦人相談員L)



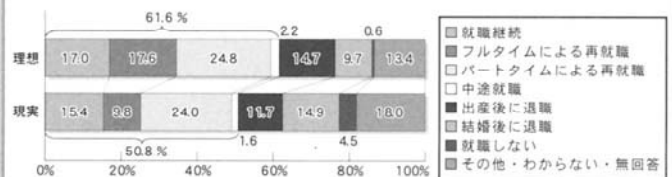
61.6%

この数字は、「就業継続や再就職などで、結婚・子育て後も働くことを理想とする」と答えた女性の割合です。

その内訳をみると、「パートタイムによる再就職」の割合が、理想(24.8%)及び現実(24.0%)とも最も多くなっています。一方、「フルタイムによる再就職」の割合は、理想は17.6%だが、現実(9.8%)となっており、理想と現実が一致しにくいことがわかります。

このような現状を踏まえ、パートナーシップさいたまでは埼玉労働局雇用均等室との共催により「働きたいあなたのための再就職準備セミナー」を開催し(P.3セミナーレポート参照)、パートタイム労働者でも、「パートタイム労働法」で定められた権利により守られていることを学習しました。

女性の働き方の理想と現実



平成21年度「男女共同参画に関する意識・実態調査」より
(埼玉県男女共同参画課)

BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

『シズコさん』

佐野洋子 著 2008年 〈新潮社〉

シズコさんは、7人の子どもを産みながらも3人も失った、著者の母親です。絵本『100万回生きたねこ』の作者として有名な著者は、4歳頃、つなごうとした手を母に振り払われてから、抱きしめられもせず、少女時代は姉の世話・家事などを命令されるなど、嫌悪感のある母子関係でした。父の死後、母がきょうだいを育て、著者は大学へ進学。また、親戚の人間模様、母の介護についても冷静に綴られています。

戦後の時代を生き抜いた母がほけてしまい、「ごめんなさい」をお互いに言えたとき、素直になれました。自ら乳がんを抱えながらも、老人ホームに入居中の母に気持ちりが寄り添っていました。小さく白黄色くなった母の手に、思いを馳せたり…。

母を大切に思う心や、人生に起こる様々なこと、そして介護のあり方を改めて考えさせられ、涙が出ました。4年後に天国で再会したお二人は今、仲良く暮らしていることでしょう。
(秋山典子)

『訪問医が見た 男の介護 女の介護』

奇原 実 著 2010年 〈洋泉社〉

整形外科の開業医だった著者が、訪問診療を始め、その後在宅医療に取り組み、更にデイサービスセンターを開設し在宅介護にも携わって15年。どうすれば人生の最終章を満足して終えることができるのかを、現場での体験をもとに著者の考え方を紹介しています。

夫は妻をよく介護するが妻は夫の介護を拒否するケースが多いとのこと。「動物としては種の保存さえ終われば夫は無用の長物だ。その遺伝子が組み込まれた妻とはお互いが元気な時から心を通わせることが大切だ」と書かれ、笑ったり時に涙したりしながら読み終わりました。

多くの事例は夫婦関係、家族関係を考えるきっかけになり、どのようにすれば「心豊かな」別れができるかを問いかけています。いつどのような形で介護と向き合う事になるかわかりませんが、元気なうちに読んでおくと、介護するほうもされるほうも悔いのない生活を過ごすことのヒントが得られる本だと思います。

(五十嵐茂樹)

施設のご案内

パートナーシップ さいたま

場所 大宮区桜木町1-10-18
シーノ大宮
センタープラザ3階

開館時間 平日 9:00～21:00
土・日・祝日 9:00～17:00

休館日 第4日曜日、年末年始

施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。
閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用できる
交流コーナーもあります。

お問い合わせ **048-642-8107** (パートナーシップさいたま) **048-875-9966** (女・男プラザ)

ひとひと 女・男プラザ

場所 緑区中尾1440-8
プラザイースト3階
※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車
又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車

9:00～17:00

月曜日、年末年始

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま ☎ **048-643-5813**

月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00

女・男プラザ ☎ **048-875-9653**

金/10:00～17:00

浦和区役所 女性の相談室 ☎ **048-829-6129**

月・火・水・金/10:00～17:00

中央区役所 女性の相談室 ☎ **048-840-6132**

月・水/10:00～17:00

岩槻区役所 女性の相談室 ☎ **048-790-0158**

月・水/10:00～17:00

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま ☎ **048-642-8107**

第2・第4水曜日/13:00～15:30

女・男プラザ ☎ **048-875-9966**

第1・第3火曜日/13:00～15:30

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま ☎ **048-642-8107**

第4金曜日/13:30～16:30

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ

「断捨離」という言葉をご存知でしょうか。いらぬものを持ち込まない「断」、
潔く捨てる「捨」、手放して自由になる「離」。

「こちゃこちゃとモノに囲まれた生活に
ストレスを感じていましたが、「そうか!
モノが多いから邪魔だったのか!」と気
付かれました。タンスの中にも外にも
洋服はあふれているのに、着るものがな
いと悩むのはなぜだろう。そんなにタ
ンスを肥やしてどうする?」

今の自分に必要なモノがあれば充分な
んだ!と私もダンシヤリアンデビューし
ました。家族の領域は侵せないで、自
分のモノを先ず処分しつつ、いずればみ
んなも巻き込んで家中スッキリさせるつ
もりです。

もったいないとしまいでいたカッ
プでお茶を楽しみながら、妄想中。
(石塚寿美恵)



さいたま市男女共同参画推進団体連絡
協議会の平成22年度研修会が3月30日に
開かれた。テーマは「介護の仕方、介護
の受け方」で、講師は小松文祐氏(特別
養護老人ホーム諏訪の苑 苑長)だった。
ところで「特養」とは、介護保険法で
「(前略)入所する要介護者に対し(中
略)入浴、排せつ、食事等の介護その他
の日常生活上の世話、機能訓練、健康管
理及び療養上の世話をすることを目的と
する施設」と決められている。食事、リ
ハビリなど集団でスケジュールに従って
こなすさまが明るい語り口で語られた。
誕生会の開催と、8年寝たきりの86歳
の女性が介護を受けているうち身体を起
こし排せつができるようになったという
話には、なごやかに老いを重ねる苑内の
ムードが伝わってくるようだった。
(武藤勝美)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

《誌名「鐘の音」》
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.24 2011年7月25日発行
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)

編集員/秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・ト部喜子・武藤勝美

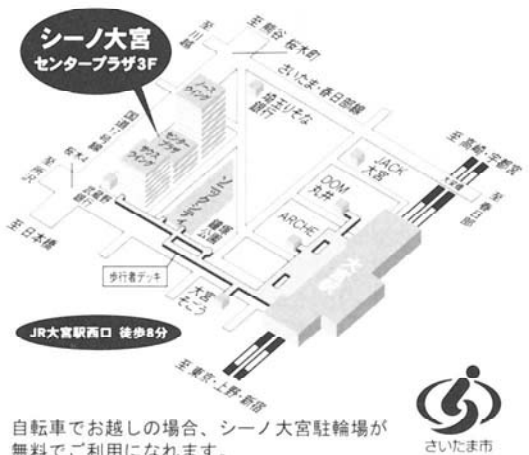
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は、4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は17.5円です。



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。

